



血糖コントロール目標

コントロール目標値		
目標	血糖正常化を目指す際の目標	合併症予防のための目標
HbA1c(%)	6.0未満	7.0未満
治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。		
注① 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。		
注② 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおよびの目標とする。		
注③ 低血糖などの副作用。その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。		
注④ いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠例は除くものとする。		

高齢者糖尿病の血糖コントロール目標(HbA1c値)

患者の特徴・健康状態 ^(注1)	カテゴリI		カテゴリII		カテゴリIII	
	①認知機能正常かつ②ADL自立	①軽度認知障害～軽度認知症または②段階的ADL低下、基本的ADL自立	①中等度以上の認知症または②多くの慢性疾患や機能障害	①軽度認知障害～軽度認知症または②段階的ADL低下、基本的ADL自立	①中等度以上の認知症または②多くの慢性疾患や機能障害	①軽度認知障害～軽度認知症または②段階的ADL低下、基本的ADL自立
■なし ^(注2)	7.0%未満	7.0%未満	8.0%未満	8.0%未満	8.5%未満 (下限7.5%)	8.5%未満 (下限7.0%)

治療目標は、年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポート体制などに加え、高齢者は認知機能や基本的ADL、段階的ADL、併存疾患などを考慮して個別に設定する。ただし、加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意する。

重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤、SU薬、クリニド薬など)の使用	7.0%未満		7.0%未満		8.0%未満	
	65歳以上 75歳未満 (下限6.5%)	75歳以上 (下限7.0%)	65歳以上 75歳未満 (下限6.5%)	75歳以上 (下限7.0%)	65歳以上 75歳未満 (下限6.5%)	75歳以上 (下限7.0%)

治療目標は、年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポート体制などに加え、高齢者は認知機能や基本的ADL、段階的ADL、併存疾患などを考慮して個別に設定する。ただし、加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意する。

正常型と糖尿病型	7.0%未満		7.0%未満		8.0%未満	
	65歳以上 75歳未満 (下限6.5%)	75歳以上 (下限7.0%)	65歳以上 75歳未満 (下限6.5%)	75歳以上 (下限7.0%)	65歳以上 75歳未満 (下限6.5%)	75歳以上 (下限7.0%)

糖尿病の診断	診断は血液検査の		糖尿病の診断		糖尿病の診断	
	①血糖値・空腹時 $\geq 200\text{ mg/dL}$ 、随時 $\geq 26\text{ mg/dL}$ 、この①②の2つがそろつたら、糖尿病です。	②HbA1c $\geq 6.5\%$ 、HbA1cの組み合わせで判定します。	①血糖値・空腹時 $\geq 126\text{ mg/dL}$ 、随時 $\geq 200\text{ mg/dL}$ 、この①②の2つがそろつたら、糖尿病です。	②HbA1c $\geq 6.5\%$ 、HbA1cの組み合わせで判定します。	①血糖値・空腹時 $\geq 126\text{ mg/dL}$ 、随時 $\geq 200\text{ mg/dL}$ 、この①②の2つがそろつたら、糖尿病です。	②HbA1c $\geq 6.5\%$ 、HbA1cの組み合わせで判定します。

食事療法	適正なエネルギー、炭水化合物・脂肪・蛋白質などを適切な分量・配分で摂り、食事の時間を規則的にすることが基本です。		治療の3本柱は①食事療法②運動療法③薬物療法。次に、各治療について述べます。		治療の大原則は早期発見・早期治療です。早期治療によって、合併症の発症や進行を遅らせることができます。合併症が発症や進行を遅らせることが可能です。特に40歳以下の若い時期に発症し糖尿病で問題になるのが、その特徴的な合併症であります。糖尿病によって、血糖が長く放置したり、糖尿病の治療がうまくいかず、糖尿病にならざる結果になります。その後、1674年のイギリスのトマス・ウリスが、患者の尿を糖尿病について解説します。	
	①血糖値・空腹時 $\geq 126\text{ mg/dL}$ 、随時 $\geq 200\text{ mg/dL}$ 、この①②の2つがそろつたら、糖尿病です。	②HbA1c $\geq 6.5\%$ 、HbA1cの組み合わせで判定します。	①血糖値・空腹時 $\geq 126\text{ mg/dL}$ 、随時 $\geq 200\text{ mg/dL}$ 、この①②の2つがそろつたら、糖尿病です。	②HbA1c $\geq 6.5\%$ 、HbA1cの組み合わせで判定します。	①血糖値・空腹時 $\geq 126\text{ mg/dL}$ 、随時 $\geq 200\text{ mg/dL}$ 、この①②の2つがそろつたら、糖尿病です。	②HbA1c $\geq 6.5\%$ 、HbA1cの組み合わせで判定します。

薬物療法	①食品の種類はできるだけ多く選ぶことが基本です。		②ポイントは、①腹八分目		③糖尿病では、①食事療法②運動療法③薬物療法の3本柱は①食事療法②運動療法③薬物療法。次に、各治療について述べます。	
	①食品の種類はできるだけ多く選ぶことが基本です。	②インスリンの働きを改善する	①腹八分目	②インスリンの分泌促進	①腹八分目	②インスリンの分泌促進

次回は12月中旬に掲載

糖尿病の歴史
糖尿病は古く、紀元前1500年ごろのエジプト、紀元前600年ごろのインドの書物に記載があります。紀元後も、ローマ帝国や中国の書物に記載が見られます。その後、1674年

糖尿病は食べ過ぎと運動不足によっておきる病気です。糖尿病を放置し、糖尿病の概念が広まっています。日本で最初に文献に出てくるのは、平安時代の藤原道長で、その晩年の症状から糖尿病だったと言われています。

糖尿病について解説します。

糖尿病の現状

日本では、糖尿病の患者数はこの50年間で約30倍に増加しました。これは、戦後、食事が西洋化したことや食事量が増えたこと

糖尿病は脳梗塞から分泌

糖尿病とは

糖尿病は脳梗塞から分泌されるインスリンという

糖尿病とは

糖尿病とは